

## 春休み @ストラスブール大学 フランス語短期語学研修

今年度もフランス、ストラスブール大学でのフランス語短期語学研修が行われます。この研修は、言語文化科目Ⅲ「文化事情(フランス)2」として開講され、「文化事情(フランス)1」と合わせて履修することにより単位認定されます。

**期間** 2019年3月3日(日)～17日(日)の2週間(予定)

**定員** 20名

**参加資格**

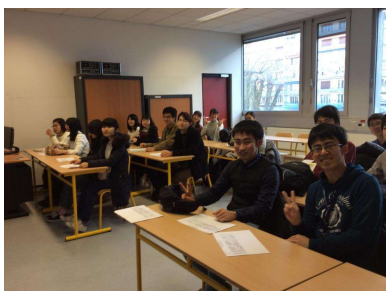
1. 学部1、2年生
2. 本学教養教育院にて「フランス語」科目の規定の単位を取得済み
3. 秋学期木曜5限「文化事情(フランス)1」を履修または履修済



ストラスブールのシンボル  
ノートルダム大聖堂



景観の美しいプチット・フランス



授業風景

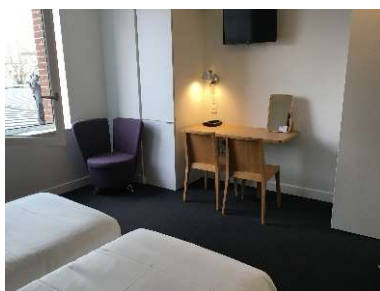
### 費用

12万円程度(以下1,2,3を含む;航空券は含まれない)

1. 学費:  
ストラスブール大学附属語学学校にて授業(月から金)、市内見学、ヨーロッパ議会見学、美術館見学、郊外散策など
2. 宿泊:  
レジデンス・アミテル、語学学校から徒歩15分 2人部屋 1食つき
3. 家庭訪問、ストラスブール大学の学生との交流

### 費用補助

日本学生支援機構(1人につき8万円、16人分)および名古屋大学から補助を得られる可能性がある。(成績評価係数2.3以上の学生が対象)



清潔で機能的な寝室

### 説明会

9月28日(金)の5限に全学教育棟Call1教室にて、研修と履修登録に関する説明会を行います。必ず出席のこと。授業などのやむを得ない事情により出席できない参加希望者は、必ず前もって研修担当の奥田智樹教員にメール [t-okuda@nagoya-u.jp](mailto:t-okuda@nagoya-u.jp) で連絡すること。事前連絡なく欠席すると、選考において不利になります。

★詳細や昨年度の研修の様子については、「名古屋大学 フランス語小部会のHP」<http://french.ilas.nagoya-u.ac.jp/> や、言語文化科目Ⅲ「文化事情(フランス)1、2」のシラバスをご参照下さい。教養教育院の掲示にもご注意ください。



語学学校の担当講師のZuzanna先生と



ストラスブール駅



町中はトラムで移動

### シラバス抜粋 言語文化科目Ⅲ「文化事情(フランス)1」秋学期木曜 5 限 全学教育棟 4 階 C42

#### ❖ 履修条件あるいは関連する科目等

フランス・ストラスブール大学での短期語学研修(2019年3月3日(日)~17日(日)実施予定)に参加希望の学生を対象とする。但し、上記研修に参加を希望しない学生の受講も可能。



ヨーロッパ議会見学

#### ❖ 授業内容:オムニバス形式で行う。

- ① 10月4日:小栗栖等(人文学研究科)「中世フランス文学の話」
- ② 10月11日:尾上順(工学研究科)「ワインのケミストリー」
- ③ 10月18日:飯野和夫(名古屋大学名誉教授)  
「ローマの継承者フランス?—その風土・歴史と文明観—」
- ④ 10月25日:田所光男(人文学研究科)  
「フランス語圏ポピュラー・カルチャーの中のマイノリティ  
—差異をめぐるせめぎ合い」
- ⑤ 11月1日:古橋忠晃(総合保健体育科学センター)  
「フランスの青年の社会的不適応と精神医学」
- ⑥ 11月8日:奥田智樹(人文学研究科)「フランス語史への誘い」
- ⑦ 11月15日:小田洋一(国際機構)「パスツール研究所とフランスの生命科学者」
- ⑧ 未定:藤村逸子(人文学研究科)「フランス語によるプレゼンテーションの方法」



ヨーロッパ議会加盟国の国旗の前で

なお、本授業の単位認定には、8講終了後の指定の期日までにレポートを提出することが求められる(レポート試験)。レポートの課題、分量、提出期限、提出方法等は授業中に説明する。

❖ 成績評価の方法:出席50%、レポート試験50%。レポート不提出の場合欠席扱いとなる。

#### ❖ 注意事項

本授業1単位の認定を受け、ストラスブール大学での語学研修に参加し、課題提出による評価を受けた学生は、「文化事情(フランス)2」の1単位が認定される(「文化事情(フランス)2」のシラバスも確認すること)。また、上記研修への参加を希望しない学生には、「成績評価の方法」に従ってSABCいずれかの評価を得た場合、本授業の1単位を認定する。